

■瑞浪市（みずなみし）

人口 37,018 人 面積 174.86 km²

【3B体操】



瑞浪市は、岐阜県の南東部に位置し、みどり豊かな自然に満ちあふれた環境の中で、太古のロマン漂う化石のまちとして全国的に有名です。市内には13ものゴルフ場があり、ゴルフの町としても知られています。また、室町時代に端緒をなすといわれる陶磁器産業を中心に発展してきた商工業都市でもあります。市北部には、中山道の宿場町「大湫宿」おおくてじゆく「細久手宿」ほそくてじゆくを有するほか、地歌舞伎や人形浄瑠璃（文楽）も伝承されるなど、往時のにぎわいを体感することができます。

歴史のまち

岐阜県には明智光秀公にまつわる伝承が各地に残っており、ここ瑞浪市にもゆかりの地が数多く残っています。土岐町の「一日市場八幡神社」は、光秀公を輩出した美濃源氏土岐一族が「一日市場館」という居館を築いた場所とされ、土岐氏発祥の地と伝えられています。また、同じ町内には、土岐一族が城主であったとされる「鶴ヶ城」という山城跡も残っています。戦国時代末期には織田信長の東美濃支配に重要な役割を果たした城として岐阜県史跡に指定されています。

また、市内には江戸時代に整備された五街道のひとつ、中山道が通っており、今も往時の面影を残しています。



中山道（琵琶峠の石畳）

観光・グルメ

瑞浪市の北部丘陵を東西に中山道が通り、街道筋には大湫宿、細久手宿、一里塚、石畳が残る琵琶峠、十三峠、弁財天の池など多くの史跡や名所があります。街道のほとんどが東海自然歩道としても整備され、四季を通じてたくさんのウォーカーが訪れます。また、市内を流れる土岐川の河川敷では化石の発掘体験を行うことができ親子連れの人気スポットになっています。

市内にはNHK連続テレビ小説「半分、青い。」で有名になった五平餅や、肉の旨味成分と脂の甘みが強く、豚肉本来の味を堪能できる瑞浪ポーノポークなど、瑞浪市ならではの味をお楽しみください。



瑞浪ポーノポーク

主な観光施設

博物館で学ぶ：化石博物館・陶磁資料館
市之瀬廣太記念美術館

中山道を歩く：大湫宿・細久手宿・一里塚・琵琶峠
十三峠等

自然に癒される：鬼岩公園・竜吟峡（自然ふれあい館）

史跡を訪れる：桜堂薬師・小里城・鶴ヶ城跡・一日市場八幡神社

世界一に驚く：世界一の美濃焼こま犬・世界一の大皿「瑞祥」・世界一の茶つぼ「豊穰の壺」



化石博物館